



MIRAI SOZO
INVESTMENTS

みらい創造インベストメンツ 会社概要

株式会社みらい創造インベストメンツ

1. みらい創造インベストメンツ概要

みらい創造インベストメンツは、東京科学大学と組織的連携協定を結ぶ独立系ベンチャーキャピタル。九工大、中小機構関東本部、つくば研究支援センター、等とも連携し、起業前の技術シーズの事業化に注力

会社概要

概要	会社名	株式会社みらい創造インベストメンツ (MIRAI SOZO INVESTMENTS Inc.)
	設立年月日	2014年9月9日
	株主	経営陣100%
	本店所在地	東京都港区芝浦三丁目3番6号 東京科学大学キャンパス・ イノベーションセンターINDEST 301
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ベンチャーキャピタル事業 研究シーズの事業化
主たる連携先		<ul style="list-style-type: none"> 東京科学大学/九州工業大学 北九州市/沖縄県 中小機構関東本部 つくば研究支援センター

沿革

●	2014年	設立
●	2016年	東京工業大学と連携協定を締結 「みらい創造1号ファンド」を設立
●	2019年	投資先であるツクルバが上場
●	2020年	北九州市と連携協定 投資先のKIYOラーニングが上場
●	2021年	「みらい創造2号ファンド」設立 投資先のQDレーザが上場
●	2023年	つくば研究支援センターがLP参画 東京工業大学がLP参画
●	2024年	東工大田町キャンパスにオフィス移転 九州工業大学と連携協定を締結 投資先のSynspectiveが上場
●	2025年	東京科学大学と新連携協定を締結

1. みらい創造インベストメンツ概要 ～支援領域

VCファンド運営を基盤に、ディープテックSU創出・成長エコシステム構築のため、「資金」、「事業」、「組織」の3つの取り組みを段階的に拡充し、活動の幅を広げてきた

研究室/ディープテックSU支援項目

これまでの取り組み概要/実績

資金づくり	VCファンド (ディープテックSU)	2016年に1号ファンド、2021年に2号ファンドを組成し、総額80億円弱を運営 東京科学大発ベンチャーを中心に既存投資先は48件、IPO4社、M&A4社の実績
	GAPファンド (創業前研究室)	2017年より、創業前の研究者向けGAPファンドを運営 過去7年で19研究室への資金助成とメンタリングを実施し2社が創業
事業づくり	グロースチーム	2022年に、起業前の研究室や起業後シードに特化したグロースチームを組成 START事業プロモーター、各地域GAPファンド連携推進機関として活動、 2023年には3社が創業
	知財戦略	2022年より、知財専門家と連携して研究室/大学発SU等の知財支援を実施 2024年度特許庁VC-IPASにも継続採択
組織づくり (創業チーム)	経営人材	2023年より、客員起業家制度(EIR)を設置し、経営候補人材を雇用 現在フルタイム3名、兼業3名がEIRとして参画
	CTO人材	2024年より、経営人材に加えCTO人材の輩出に着手 TOKYO SUTEAM(東京都)に採択され支援強化

1. みらい創造インベストメンツ概要 ~メンバー 1/2 主要メンバー①

技術と事業に精通し、起業経験を持つメンバーを中心に構成



代表取締役社長
岡田 祐之

東京工業大学大学院修士課程修了後、東京電力入社。原子力部門にて新技術開発に従事。ベンチャーキャピタルに出向、ハンズオン支援を手掛ける。「大企業と中小企業」、「事業会社と金融」を理解し、事業組成からサービス化、営業戦略までの戦略立案と実行の経験を積む。2014年にみらい創造機構を設立。
投資担当はXTIA、O2パートナーズ、3D Printing Corporation、digzyme、NOVIGO Pharma、AMSplanning、等



取締役 / 共同創業者
金子 大介

東京工業大学大学院修士課程修了後、経営コンサルティング会社に入社。戦略コンサルタントとして、新規事業立案やM&A等、幅広い領域でのコンサルティングに従事。みらい創造機構を共同創業し、ベンチャーキャピタル事業を統括。特許庁IPASメンバー。東京工業大学非常勤講師。
IPO実績は、ツクルバ、KIYOラーニング、Synspectiveの3社。
投資担当は、ElevationSpace、Striemo、等



執行役員 / パートナー
高橋 遼平

京都大学卒業後、三菱商事へ入社。社内新規事業の営業・運用・開発に携わった後、JVとしてカーブアウト。2015年に東大発医療系ベンチャーを起業し代表取締役CEOとして事業拡大後、事業会社と資本業務提携。米系コンサルティングファームを経てみらい創造機構に参画。東京工業大学大学院博士(工学)。東京工業大学非常勤講師。
投資先のelleThermo、TriOrb並びにASEMtechにおいて、社外取締役として参画

1. みらい創造インベストメンツ概要 ~メンバー 2/2 主要メンバー②

技術と事業に精通し、起業経験を持つメンバーを中心に構成



プリンシパル
高山 朝邦

東京工業大学卒業後、総合金融会社を経て日本アジア投資に入社し、技術系ベンチャー企業を中心に投資。産学連携ファンドに携わったのち、通信キャリアとハイテクベンチャー企業を主要ターゲットとしたファンドを組成し、ファンドマネージャーとして活躍。

主なIPO実績はQDレーザ、ファーストエスコ、デジタルメディアプロフェッショナル等。投資担当は、アロマビット、フローディア、ハイボット、Rapyuta Robotics、つばめBHB、エネコートテクノロジーズ等



キャピタリスト
南 百合子

東京大学大学院修士課程修了後、東京電力に入社。エンジニアを経てグループ経営部門にて新規事業開発、事業再編、中期経営計画等を担当。みらい創造インベストメンツではディープテック(環境、素材、バイオ、医療・ヘルスケア領域)への投資とハンズオン、創業前の技術シーズの事業化等を担当。お茶の水女子大学 非常勤講師。

投資担当は、digzyme、グリーンケミカル、Eco-Pork、vivola、Ryple、アークス、エーテンラボ、Logomix等



キャピタリスト
相澤 浩明

東京工業大学大学院修士課程修了後、三菱商事に入社。石油化学部門にて、サウジアラビア国営企業との合併会社や韓国財閥系化学メーカーの生産商品のマーケティング、並びにグリーンケミカル分野の調査業務を担当。その後、米国ヒューストン支店にて新規買収事業の北米域のマーケティング戦略策定オペレーション構築に従事。

投資担当はTriOrb、等

2-1. ベンチャーキャピタル事業 ～ポジショニング

東京科学大(旧 東京工業大学)との組織的連携協定を2016年に締結し、2023年には弊社2号ファンドにLPとして出資参画。東工大と医科歯科大の合併で2024年に東京科学大学が誕生し、弊社と新連携協定を締結

東京科学大学(旧 東京工業大学)と弊社の連携

組織的連携協定締結(2016.5)

東京工業大学とみらい創造機構
組織的連携協定を締結



2号ファンドへの出資参画(2023.12)

東京工業大学が
みらい創造2号ファンドにLP出資



新連携協定の締結(2025.1)

東京科学大学がみらい創造インベストメンツ
と新連携協定を締結



2024年10月1日、東京工業大学と東京医科歯科大学が合併し、
東京科学大学(Science Tokyo)が誕生



2-2. ベンチャーキャピタル事業 ～運営ファンド

現在、2つのファンドを設立し、総額75.9億円を運用。技術系スタートアップに幅広く投資

	1号ファンド	2号ファンド
設立	2016年9月	2021年9月
運用年数	10年間	10年間
ファンド総額	33.4億円（投資完了）	42.5億円
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ① 東工大“発”ベンチャー ② 東工大“着”ベンチャー ③ 東工大“人”ベンチャー ④ その他の技術系ベンチャー 	<ul style="list-style-type: none"> ① 東京科学大学関連ベンチャー ② 国立大学関連ベンチャー ③ その他の技術系ベンチャー
ファンド出資者		

2-3. ベンチャーキャピタル事業 ～主な投資先

研究開発型スタートアップへの投資に注力。IPO4社、M&A4社の実績

宇宙	機械/ロボティクス	医療機器	AI/量子コンピュータ	エンタメ/スポーツ
 	    	    	 	  
エネルギー   	半導体/センサ    	ヘルスケア   	建築/不動産  	DX    
環境/材料   		創薬   	教育    	

上場実績

- 株式会社ツクルバ
 - 2019年7月31日
 - 東証マザーズ*
- KIYOラーニング株式会社
 - 2020年6月12日
 - 東証マザーズ
- 株式会社QDレーザ
 - 2021年2月5日
 - 東証マザーズ
- 株式会社Synspective
 - 2024年12月19日
 - 東証グロース

*2022年4月に、「東証マザーズ市場」は「東証グロース市場」に変更

3-1. 研究開発型スタートアップ創出・育成の取り組み ～創業前研究者支援一覧

起業前の研究者に伴走し、23年には3社が起業しリード投資を実行。24～25年も複数助成金共同採択実績

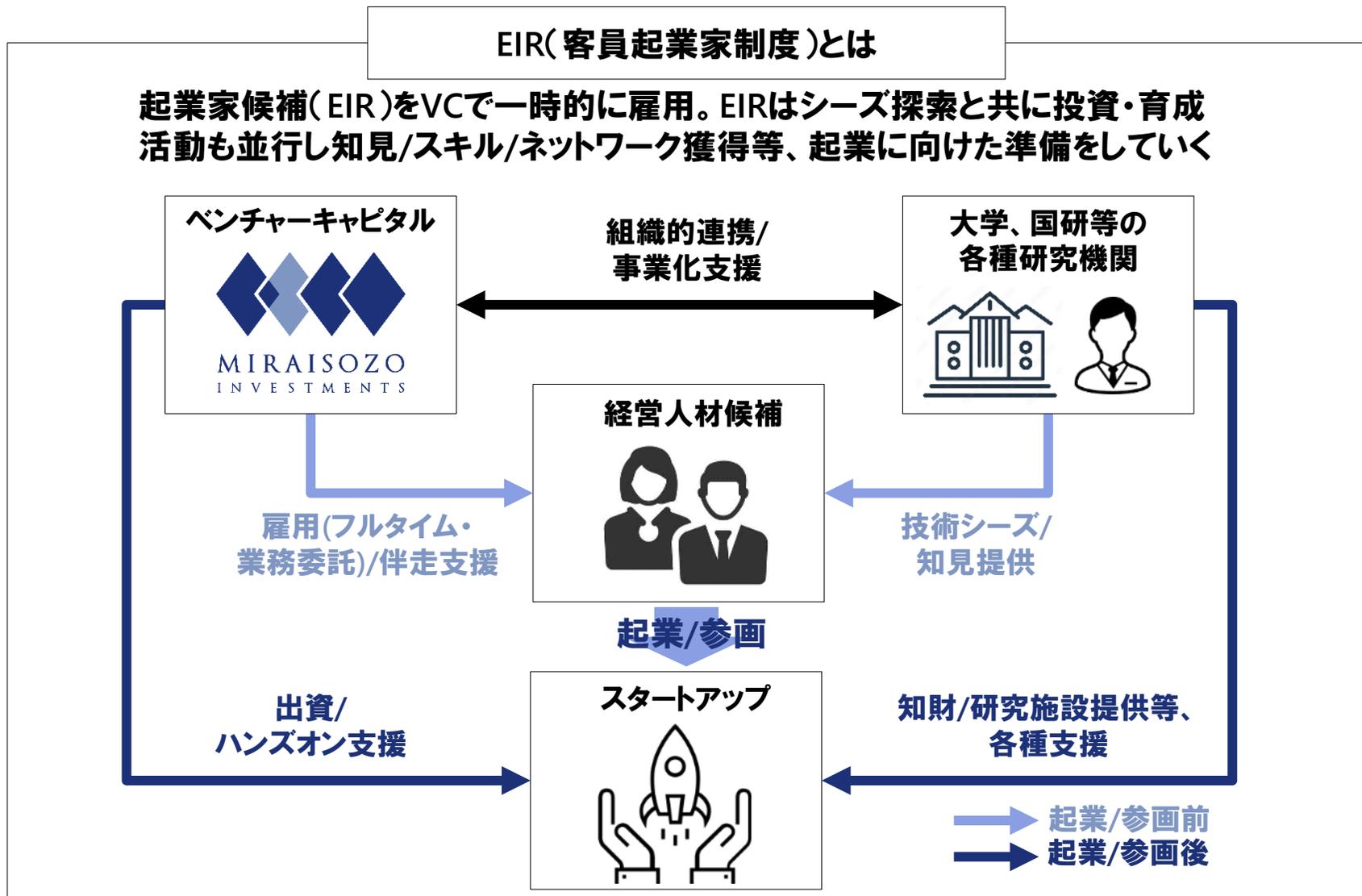
創業前支援(Venture Creation)の一例

No.	研究分野	研究機関	代表研究者	研究の概要	ステータス
1	エネルギー	東京科学大	松下祥子 准教授	未利用排熱を活用した分散型電源システムの開発	<ul style="list-style-type: none"> 23年2月起業/リード投資 22年度GTIE採択
2	機械	九工大/ 産総研	石田秀一 主任研究員	産業用ロボットの生産性向上を実現する球駆動式全方向移動装置の開発	<ul style="list-style-type: none"> 23年2月起業/リード投資 22年度START採択
3	医療機器	農工大	生嶋健司 教授	音響誘起電磁法(ASEM法)による非侵襲生体センシングの開発	<ul style="list-style-type: none"> 23年11月起業/リード投資 弊社EIRが創業支援
4	情報通信	東京科学大	大西領 教授	デジタル技術による、環境と調和した未来社会サービスの実現(微気象計算/予測)	<ul style="list-style-type: none"> 東工大芙蓉みらいGAPファンド採択 24年度起業後NEP共同申請/採択
5	情報通信	京大	平井義和 講師	次世代情報通信の高度化技術を確立する超小型原子時計用ガスセル製造の事業化	<ul style="list-style-type: none"> 23年度JST START共同申請/採択
6	エネルギー	東京科学大	伊原学 教授	カーボン空気二次電池システムの事業化に向けた実用セルの具体化とシステム設計	<ul style="list-style-type: none"> 24年度GTIE共同申請/採択
7	エネルギー/ ロボティクス	茨城大/ JAEA	田中伸厚 教授	原子炉の廃炉計画のための、デジタルツインシステムの開発	<ul style="list-style-type: none"> 24年度GTIE共同申請/採択
8	情報通信	九工大	徳永 旭将 准教授	ベイズ推論や統計的機械学習を基軸としたイメージデータ解析	<ul style="list-style-type: none"> 24年度PARKS共同申請/採択 弊社EIRが創業支援
9	電気電子	長崎大	榎波 康文 教授	超広帯域光通信デバイスの開発	<ul style="list-style-type: none"> 24年度PARKS共同申請/採択 弊社EIRが創業支援
10	バイオ	信州大	天野 良彦 教授	液密亜臨界制御による水熱反応/酵素反応のハイブリッド処理技術の事業化	<ul style="list-style-type: none"> 24年度IJIE共同申請/採択



3-2. 研究開発型スタートアップ創出・育成の取り組み ～EIR(客員起業家制度) 1/3 概要

EIR(客員起業家)制度を整備し、経営人材候補をEIRとして弊社で雇用。各種機関と連携しEIRと共に、研究シーズの事業化を支援



3-2. 研究開発型スタートアップ創出・育成の取り組み ～EIR(客員起業家制度) 2/3 採択実績

EIR制度に関しては、22年度に経産省の客員起業家制度(EIR)の実証事業に採択され受け入れ体制を構築。23年度にはNEDO MPM事業に採択され、活動を強化

EIR制度に関する採択/活動

客員起業家の活用に係る 実証事業(2022-23)

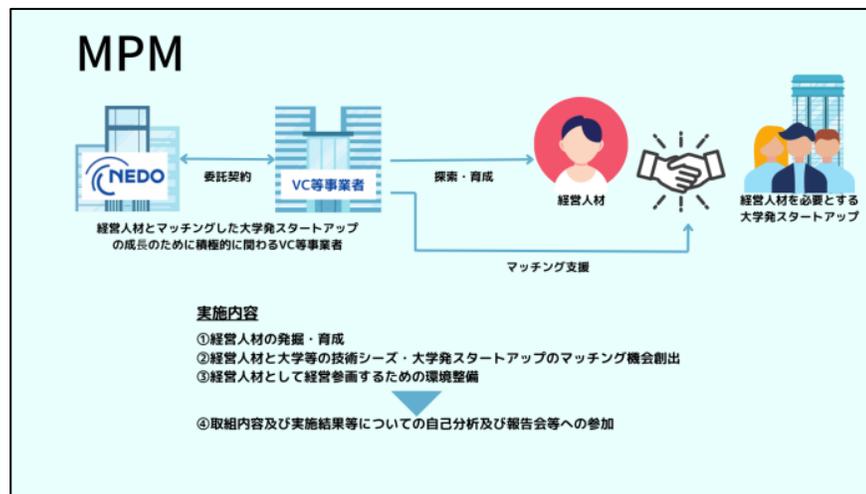
- ・ 経済産業省「客員起業家(EIR)の活用に係る実証事業」に採択
- ・ 22年度の実証期間で、EIR制度の設計・立ち上げ、客員起業家の受け入れ体制の構築、等を実施
- ・ 大学発ベンチャー設立の新しい形として検証

【採択事業者(類型順・五十音順)】

NO	EIRの活用類型	事業者名
1	起業支援・事業領域開拓型	株式会社ガイアックス
2	起業支援・事業領域開拓型	ジャフコグループ株式会社
3	起業支援・事業領域開拓型	Studio ENTRE株式会社
4	起業支援・事業領域開拓型	株式会社デライト・ベンチャーズ
5	起業支援・事業領域開拓型	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
6	シーズ等活用型	京都大学イノベーションキャピタル株式会社
7	シーズ等活用型	株式会社みらい創造機構
8	社内変革推進型	南海電気鉄道株式会社
9	社内変革推進型	三菱地所株式会社

大学発スタートアップにおける 経営人材確保支援事業(2023-25)

- ・ NEDO「大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業(MPM)」に採択
- ・ SUの経営者として参画する人材を発掘し、また、大学等の技術シーズ・大学SUとのマッチング等の実施
- ・ 大学発SUの経営人材獲得ルートを多様化し、SUの創出・成長に取り組む



3-2. 研究開発型スタートアップ創出・育成の取り組み ～EIR(客員起業家制度) 3/3 採用実績

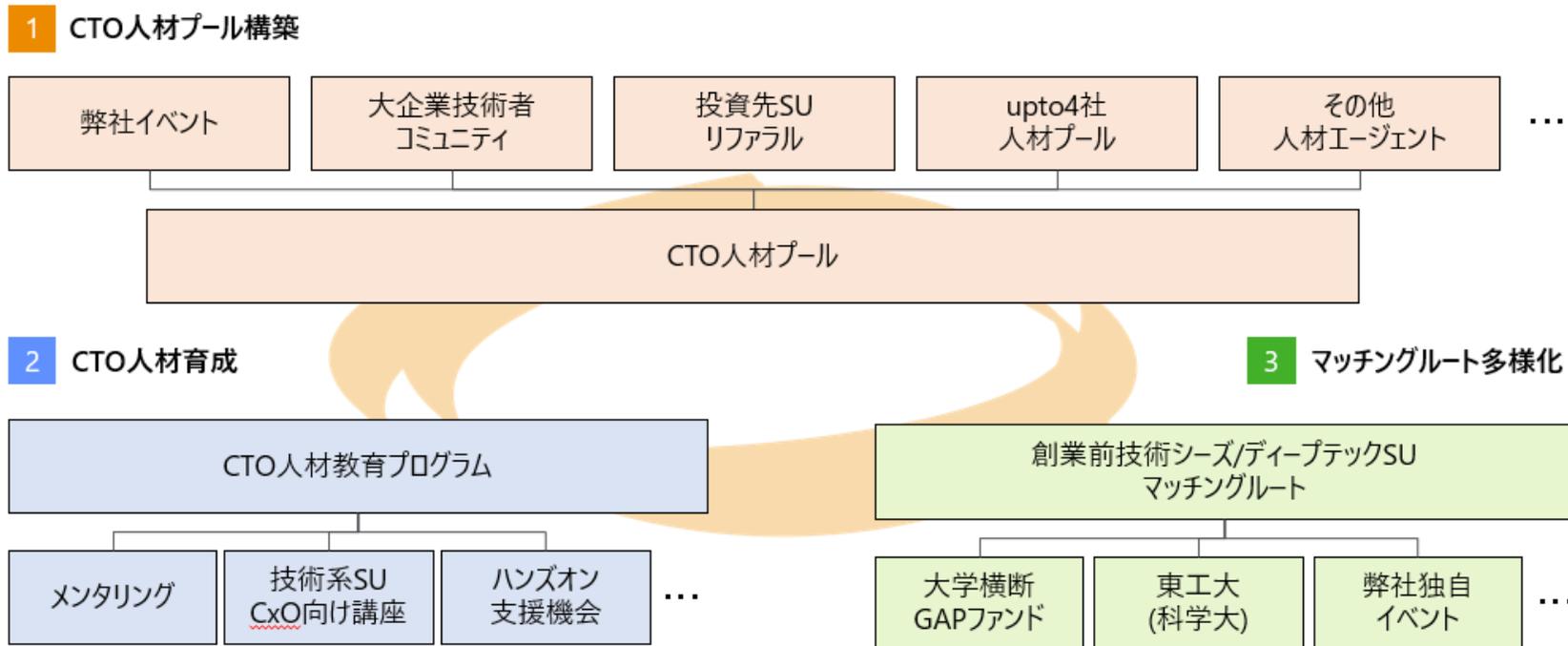
総合 商社	 森 健太郎 東京大学経済学部卒業後、三菱商事に入社。国内データセンター事業に10年に亘り従事し、世界最大のデータセンターREITである米デジタル・リアルティとの合併会社設立を主導。同社に出向し、事業立上げ・新規プロダクト開発に従事
	 友政 蘭 医学博士、病理専門医。群馬大学医学部卒業後、順天堂大学医学部附属順天堂医院、群馬大学医学部附属病院での医師勤務を経て、ボストンコンサルティンググループに参画。戦略コンサルタントとしてヘルスケア・メディア・産業材等、幅広い領域のプロジェクトに従事
フル タイム	 橋本 健二 九州工業大学大学院を修了後、キャノンメディカルシステムズで医療情報システムの企画及び販売戦略立案に従事。名刺管理サービスを手掛けるSansanの初期に参画。法人営業、事業開発などを担当後、医療AIの開発を手掛ける大学発ベンチャーを創業、代表取締役として事業化を主導
	 中村 健 カリフォルニア工科大学大学院にて流体力学と機械工学を修了後、米系重工業Morris Engineeringを経て、A.L.I.TechnologiesにCTOとして参画。インフラ検査用ドローン、ホバーバイクの開発に従事。その後、ロボットSUを創業、代表取締役として農業用ロボットおよび軍用ドローンの事業化に取り組む
起 業 経 験	 高橋 駿彦 早稲田大学環境資源工学科を卒業後、国内最大手鉄鋼商社のメタルワン、製造業特化サービスを手掛けるCADDiにて新規事業開発に従事。現在は独立し、外資系検査会社の日本法人立ち上げ、日系企業の海外進出等、技術×海外を軸とした新規事業開発に取り組む
	 富岡 英樹 株式会社ファンペップ取締役CSO。小野薬品工業株式会社を経て、アンジェスMG株式会社にて、遺伝子治療、核酸医薬品の研究開発を経験。大阪大学にて博士を取得。その後、株式会社ファンペップの取締役研究開発部長兼CSOとして、ペプチド医薬品の研究開発に従事し、ベンチャー企業の上場を経験
兼 業	 千葉 のどか 東京科学大学にて腸内細菌と健康の関連性解析の研究に従事。2025年3月にPh.D取得予定。医薬基盤・健康・栄養研究所にて「食環境整備推進のための産学官連携共同研究PJ」に参画・データ解析を担当。2024年度中に、体質改善のための個別最適食の設計システムを強みとする株式会社BitaPを創業予定
	上 場 経 験
博 士 在 学	

3-3. 研究開発型スタートアップ創出・育成の取り組み ～TOKYO SUTEAM採択

ディープテックSUの起業数増加に向け、CTO人材プール構築・CTO人材育成・マッチングルート多様化の3テーマを相互に連携・強化し、CTO人材供給・育成エコシステムの中長期的な発展に向けた基盤構築を行う

TOKYO **SU**TEAM

CTO人材供給・育成エコシステムの全体像



東京発ディープテックSU創業数の増加

R6



株式会社みらい創造インベ
ストメンツ

事業創出 エコシステム構築 創業前
エンジニア シード ディープテック

東京発ディープテックSUの起業数増加に向けた「CTO供給・育成エコシステム」の企画・開発

事業育成の方針・戦略

事業計画や資本政策の策定といった戦略面での支援に留まらず、営業及び開発に関しても、 Grant申請前からハンズオンで支援

【事業開発】

- シードラウンドだけでなく、シリーズA、B含む、Exitまでの一連の調達を念頭においた事業化を支援
 - 経営メンバー含む起業後の組織構築と、顧客の需要に対する解像度を高める活動を重視
- Grant申請前から、積極的に顧客候補の意思決定者を交えたコミュニケーションをリード
 - EIRを始めとする対象市場の専門家が伴走することで、顧客のニーズとペインを捉え、研究開発計画にも積極的にフィードバックを実施

【研究開発】

- また、研究開発型SUへの豊富な投資経験を活かし、プロトタイプから量産設計、デリバリ能力の獲得まで見据えた、開発戦略の構築を支援

【特に支援したい技術分野】

- 環境/エネルギー
- ロボティクス
- 半導体
- 情報通信
- ナノテクノロジー/材料
- 医療機器/ヘルスケアサービス

【連絡先】

- Mail: d-global@miraisozo.co.jp